

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

北海道の東海林太郎が一味園を慰問（7月7日）

北海道の東海林太郎と呼ばれ、道内外の老人施設で歌の慰問を続けている網走管内雄武町の石沢長吉さんが、一味園を訪れ、昭和初期の名曲などを披露しました。石沢さんは、11年ほど前から全国各地の施設の慰問を続けており、今回が207回目です。一味園には3年続けての訪問となりました。歌謡ショーでは、一味園やくるみ園の入所者を前に、東海林太郎さんの名曲「赤城の子守唄」や「国境の町」など、アンコールも含めて15曲を披露。今年91歳になつた石沢さんの元気な歌声に入所者の皆さんは手拍子をしながら、なつかしの名曲を楽しんでいました。



夏の観光シーズンを迎え安全運転を呼びかけ（7月7日）

交通量が増加する夏の観光シーズンを迎えて、町交通安全協会（渡邊龍幸会長）の街頭啓発が道の駐車場で、交通安全協会の役員や交通指導員をはじめ、婦人会、老人クラブの皆さんなど約30名が、交通安全のタスキを肩に掛け、通過するドライバーの皆さんに啓発チラシや木彫りの太鼓、くまさ茶などが入った袋を手渡し、安全運転を呼びかけました。



落合で防犯パトロール隊を結成（6月26日）

町防犯協会落合支部（大橋貞治支部長）では、地域の防犯活動を強化することを目的として「落合防犯パトロール隊」が結成され、その出動式が行われました。

出動式には、富良野警察署の小川清次署長が駆けつけ隊員を激励。富良野地区防犯協会の佐藤茂副会長からパトロール車に取り付ける「青色回転灯」とステッカーが授与され、隊員の皆さんは早速、パトロール車に青色回転灯を取り付けて、地域のパトロールに出動しました。

本町では、既に、幾寅と金山地区でパトロール隊が結成され、各地区で防犯パトロールが行われています。

森の様子を観察（6月23日）

森林の成長を定期的に観察しながら、森林や地球環境を守る大切さを学ぼうと、幾寅小学校3年生と4年生による「エジンバラ公の森公園観察学習」が行われました。講師を務めた上川南部森づくりセンター富良野事業所勝矢晃敏所長から森についての話を聞いたあと、観察木の高さや幹の太さなどを測定し、熱心に観察していました。

また、観察会では、金山ダム水源地域ビジョン連絡協議会の小林茂雄さんが、エジンバラ公の森に生息する鳥や昆虫について話をすると、児童の皆さんは興味深々で話に聞き入っていました。



落合岳へ元気に登頂（7月13日）

教育委員会主催の町民登山が行われ、20名の参加者が落合岳（標高1,168m）に挑戦しました。

当日は青空が広がる絶好の登山日和となり、参加した皆さんは張り切って登山口を出発し、途中休憩を取りながら約1時間30分ほどかけて全員が登頂しました。頂上では周辺の景色が一望でき、大自然を満喫しながら、お弁当を食べていました。



体育館でカーリング（7月12日）

本町の隣町新得町で考案されたフロアカーリングの講習会が南富良野高校体育館で行われました。フロアカーリングは、カーリングのストーンにあたるキャスターの付いたフロッカーという道具を、ターゲットと呼ばれる的を目掛けて投げて、最後に的に近いチームに得点が与えられる競技で、参加した皆さんはフロッカーの変化に悪戦苦闘しながら、ゲームを楽しんでいました。



湖上でのツーリングを満喫（6月28日）

教育委員会主催の町民カヌー教室が6月21日と28日の2日間かなやま湖で開催され、カヌーの基礎知識や基本動作を学びました。

6月28日には、富良野沿線社会教育ネットワーク事業と併せて実施され、地元からの参加者12名に加えて町外からも15名が参加して、心地よい日差しとさわやかな風を受けながら、湖上でのカヌーツーリングを満喫していました。

英会話教室の修了式（6月30日）

教育委員会の主催で昨年10月から開かれていた英会話教室の修了式が行われ、10名の受講生の皆さん一人ひとりが森教育長から修了証書を受け取りました。受講生の皆さんは、1人ずつ英会話教室での感想などを英語でスピーチし、これまでの学習の成果を披露し、大きな拍手を浴びていました。講師を務めたブレット・ライトさんは、「皆さんと楽しく勉強ができてとても良かったです。」と話していました。



森林組合が地域貢献事業（6月27日）

6月27日、南富良野町森林組合（新田信一組合長）による地域貢献事業として、かなやま湖畔のフォレストタウン記念植樹の森とアオダモの森の草刈作業が行われました。職員の皆さんは、暑い日差しが照りつける中、作業に汗を流しました。

